

# 玉川上水を歩く

## 散策マップ

### まいまいす井戸

五ノ神社境内にある。地下の水源まで鉢状に井戸を掘り、水場までの通路を設けたもので、名はそのうず巻き状の通路がまいまいす（かたつむり）に似ていることに由来。昭和36（1961）年、水道ができるまで使われていた



### 玉川兄弟の像

玉川上水の開削工事を請け負った兄弟の像で、昭和33（1958）年に建立された。立ち姿が兄の庄右衛門、ひざまずいているのが弟の清右衛門。二人の出身などは不詳



### 玉川上水船着き場跡

明治3（1870）年、玉川上水に物資運搬の通船が許可された。100艘ほどの船が行き來し活況を呈したが、上水が汚されたり、岸辺の土が削られたりするため、わずか2年で通船は禁止された



### 玉川上水旧堀

玉川上水は、多摩川の洪水でしばしば壊された。90年近くたった元文5（1740）年、長さ600m余りが、今の新堀に造りかえられた。旧堀の周辺は、樹木の生い茂る公園として保護されている

### 田村分水

江戸時代からの造り酒屋、田村家の屋敷内に引かれた分水。下流は村の農業用水に使われていた。30余りあった分水のほとんどが姿を消した今なお残る。また個人用に許可された分水としても珍しい

### 玉川上水いまむかし

玉川上水は、江戸に暮らす人々の飲料水を供給するために造られた上水路です。

慶長8（西暦1603）年、徳川家康が幕府を開いてから、江戸の人口は次第に増加し、水不足は重大な問題となりました。そこで幕府は、庄右衛門・清右衛門兄弟に、多摩川の水を江戸に引く工事を請け負わせたのです。

開削工事は承応2（1653）年に開始され、わずか8カ月間で、羽村から四谷大木戸までの四十数kmの上水路を完成させました。これは技術の発達した現代からみても、驚異的なスピーディです。工事にあたった兄弟はこの功績をたたえられ、玉川の姓を授かったといわれています。

こうして玉川上水は江戸の人々の生活を支える貴重な水道となつたほか、途中の村々で約30ほどの分水にも引かれ、新田開発にも大きく貢献しました。

現在では上流の羽村から小平までの間約12kmが、上水路として利用されているにすぎません。なお、上水の大半は、約五百m下流の第三水門から地下の導水路を通って、各水道施設に送られています。また、玉川上水は、多摩川八景の一つにも數えられています。

### 堰の筏通し場

青梅の木材は筏に組んで多摩川を流し、江戸に運ばれていた。堰の一部を少し空けて、川底の蛇かごの上に丸太をならべ、筏を通しやすいうように工夫がなされていた



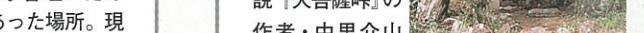
### 玉川水神社

玉川兄弟が上水の守り神として吉野から水神を勧請した。境内には筏師たちが寄進した石灯ろうがある



### 玉川上水 羽村陣屋跡

江戸時代に幕府が置いた上水管理のため役所（陣屋）があった場所。現在は東京都水道局の羽村取水所となっている



### 禅林寺

臨済宗寺院。世界最長の未完の小説『大菩薩峠』の作者・中里介山（1885～1944年）の墓もある



### 羽村市郷土博物館

昭和60（1985）年4月に開館した。羽村堰と玉川上水に力を入れて展示。ほかに羽村市出身の作家・中里介山に関するコーナーや、羽村の自然・歴史・文化のコーナーもある

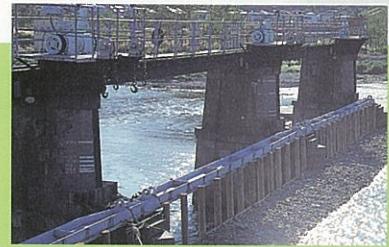
●開館／午前9時～午後4時30分まで。

休館／月曜日

（月曜日が祝日の場合は月・火）

年末年始。

TEL：042-558-2561



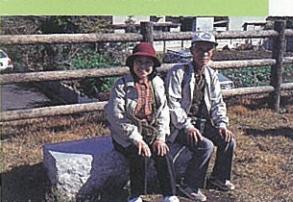
### コラム1 羽村の取水堰

羽村の取水堰は、多摩川の水をせき止め、水道用水として玉川上水に引き入れるために造ったものです。ここ羽村に堰を造ることになったのは、江戸の町に水を流していくのに適当な高さがあったこと、また多摩川が大きくなり行して対岸にぶつかり、ちょうど玉川上水の取水口に向かって流れこむ地形であったためといわれています。堰は、多摩川をせき止める投げ渡し堰と固定堰、そしてせき止められた水を取り入れる水門から成っています。投げ渡し堰と固定堰、そしてせき止められた水を取り入れる水門から成っています。

羽村の取水堰の水と緑の調和した景観は、新東京百景に選定されています。

### コラム2 川の一里塚

多摩川は、散策や水遊びなど、さまざまな形で年間約二千万人の人々に利用されています。また、羽村市このあたりは、多摩川の流れとそれを潤す自然を広く見渡すことができ、四季を通じて多くの人々が憩いに訪れます。そこで、建設省と羽村市の協力のもと、堤防の上の道ぞいに休憩の場「川の一里塚」が整備されました。これは、盛り土した上の広場に、植樹やベンチを整備したので、ここでは水洗トイレも設置されています。また足の自由な方でも川に近づけるよう、スロープを緩傾斜にするなどの工夫がなされています。



### 玉川上水散策コース

- |            |       |              |       |
|------------|-------|--------------|-------|
| ① 福生駅 集合   | 9:30  | ⑨ 玉川上水 舟着き場跡 | 13:00 |
| ② 玉川上水     |       | ⑩ 玉川兄弟の像     |       |
| ③ 田村分水     |       | ⑪ 堰の筏通し場     |       |
| ④ 砂利鉄道跡    |       | ⑫ 羽村の取水堰     |       |
| ⑤ 玉川上水旧堀   |       | ⑬ 玉川水神社      |       |
| ⑥ 堂橋       |       | ⑭ 玉川上水 羽村陣屋跡 |       |
| ⑦ 川の一里塚    | 12:00 | ⑮ 禅林寺        |       |
| ⑧ 羽村市郷土博物館 |       | ⑯ まいまいす井戸    |       |
|            |       | ⑰ 五ノ神会館      | 14:30 |

### 砂利鉄道跡



昭和の初めごろ、多摩川で砂利を採掘して、青梅線福生駅まで運ぶ1.9kmの専用貨物線の鉄道が敷かれた。昭和36（1961）年に廃止され、道路や堤防に整備された。鉄橋も架け替えられて、加美上水橋の名がついた

